



2022年7月29日

報道関係者各位

日本セルヴィエ株式会社
株式会社ヤクルト本社

抗悪性腫瘍剤「オニバイド®点滴静注 43mg」の プロモーション契約終了のお知らせ

日本セルヴィエ株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役:エリック・デラージュ、以下「日本セルヴィエ」と呼ぶ)と株式会社ヤクルト本社(本社:東京都港区、代表取締役社長:成田裕、以下「ヤクルト本社」と呼ぶ)は、抗悪性腫瘍剤「オニバイド®点滴静注 43mg」(一般名:イリノテカン塩酸塩水和物、以下「オニバイド®」)に関する日本におけるプロモーション契約(以下「本契約」)を2022年9月30日で終了することをお知らせします。

オニバイド®は、有効成分であるイリノテカンをポリエチレングリコール(PEG)で修飾したリポソームに封入した製剤です。オニバイド®について、日本セルヴィエは2020年3月25日に「がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な膵癌」の効能・効果で厚生労働省より製造販売承認を取得し、ヤクルト本社が独占的にプロモーション活動を実施してまいりました。

この度、日本セルヴィエの事業戦略の変更により、本契約を終了することになりました。本契約の終了により、2022年10月1日以降、オニバイド®のプロモーション活動は、製造販売元である日本セルヴィエが実施します。また、今後、本契約の終了に向けて、ヤクルト本社が実施しているプロモーション活動等の日本セルヴィエへの引き継ぎを進めてまいります。

日本セルヴィエおよびヤクルト本社は、これからも、それぞれの活動を通じて、患者さまや医療関係者へ更なる貢献をしてまいります。

以上

セルヴィエ社について

セルヴィエは、非営利財団が運営する国際的な製薬グループです。世界150カ国に拠点をもち、2021年の総売上高は47億ユーロ、従業員数は全世界で21,800人です。セルヴィエは、毎年総売上高(ジェネリック製品を除く)の20%以上を研究開発に投資している独立したグループです。患者さまにとって有益な治療法の革新を加速させるため、当グループは学術パートナー、製薬グループ、バイオテクノロジー企業とのオープンで協力的なイノベーションに取り組んでいます。また、研究から医薬品の提供を越えたサポートに至るまで、患者さまの声を活動の中心に据えています。循環器領域のリーダーであるセルヴィエグループが目指しているのは、がん領域で信頼に足る革新的なプレイヤーになることです。その成長の基礎にあるのは、循環器・代謝性疾患、がん、ニューロサイエンス、並びに免疫炎症性疾患に対する持続的な取り組みです。また、あらゆる人が医療を受けやすくなるよう、セルヴィエグループは、多くの病状をカバーする様々な質の高いジェネリック医薬品も提供しています。

日本セルヴィエは、1981年に設立され、国内製薬会社とのライセンス契約を通じて、セルヴィエの医療用医薬品を国内の患者さまにご提供してまいりました。今後はオンコロジー領域をはじめとする

アンメット・メディカルニーズがある領域に注力し、日本の医療に貢献してまいります。詳細はウェブサイトをご覧ください。

(セルヴィエグループ) <https://servier.com/> (日本セルヴィエ) <https://www.nihonservier.co.jp>

ヤクルト本社について

ヤクルト本社は、「私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。」という企業理念の下、飲料・食品、医薬品、化粧品の開発・製造販売を行う日本企業です。医薬品事業においては、抗がん剤「カンプト®」や「エルプラット®」等の開発・製造販売を通じて、医療・医薬への取り組みを進めています。ヤクルト本社に関する更なる情報は <https://www.yakult.co.jp> をご参照ください。